

受付番号： 2021-1-591

課題名：膵癌における抗癌剤治療とヘキソサミン経路との関連性を解明する後ろ向きコホート研究

### 1. 研究の対象

2010年1月1日より2020年12月31日までの期間内に東北大学病院総合外科で膵腺癌の診断にて手術加療が施行された方

### 2. 研究期間

2021年9月（倫理委員会承認後）～2026年8月

### 3. 研究目的

本研究では膵癌切除検体を用いた免疫染色法を行うことでヘキソサミン経路の導入酵素であるGFPT2の発現量を評価し、抗癌剤使用例において本因子の発現量が変化するか、またGFPT2の発現量が膵癌切除後の遠隔転移発形並びに予後予測を可能とする因子となりうるかを明らかにする。

### 4. 研究方法

予後が判明している膵癌切除検体を対象とし、抗癌剤治療後の切除例(NAC群)と、手術先行例(SF群)に分け免疫染色法を用いてGFPT2の発現解析を行う。GFPT2の発現量をもとに高発現群と低発現群に分類し、発現量と再発パターンや生存率を評価することで、GFPT2の発現が術後の遠隔転移再発を予測しうるリスク因子となるかを検討する。

### 5. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究はカルテに記載された事項や、手術所見、病理所見や切除検体等を用いて行う。

### 6. 外部への試料・情報の提供

該当なし

### 7. 研究組織

本学単独研究

## 8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、  
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

有明恭平

東北大学病院総合外科 助教

〒980-8574

宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL:022-717-7205

FAX:022-717-7209

研究責任者：

有明恭平

東北大学病院総合外科 助教

〒980-8574

宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

TEL:022-717-7205

FAX:022-717-7209

### ◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「8. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

### ◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求

することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合